

www.lowrance.com

前書き

免責事項

Navicoは継続的に製品の改善を行っており、当社は本版のマ ニュアルに反映していない製品に対する変更を随時行ってい ることがあります。何らかのお手伝いが必要である場合は、 最寄りの代理店にご相談願います。

機器は、お客様の責任において、事故、負傷もしくは物損の 原因とならないような方法で取付け、ご使用をお願いいたし ます。海上における安全慣行の順守は、全面的に本製品のユ ーザー様の責任となります。

NAVICO HOLDING AS およびその子会社、支店、関連会社は、 本製品を事故や危険の原因となり得、法律違反となり得る方 法で使用した場合については、一切の賠償責任を負いません。 本マニュアルの内容は、印刷時における製品を表わしていま す。Navico Holding ASおよびその子会社、支店、関連会社は、 予告なく仕様を変更することがあります。

使用言語

製品に関連する本記述、一切の操作マニュアル、ユーザーガイ ドおよびその他の情報(Documentation(文書))は他の言語に 翻訳されることがある、もしくはされてきております (Translation(翻訳))。DocumentationのTranslationの間に矛 盾がある場合は、Documentationの英語版が公式版となります。

商標登録

Navico[®] は、Navico Holding ASの登録商標です。 Lowrance[®] は、Navico Holding ASの登録商標です。 C-MAP[®] は、Navico Holding ASの登録商標です。 Navionics[®] はNavionics, Inc の登録商標です。 SD[™] およびmicroSD[™] は、合衆国とその他の国もしくはその 両方におけるSD-3C, LLCの商標もしくは登録商標です。

Navico 製品の 参照 先

本マニュアルは以下のNavico製品に対して参照されます。 ・DownScan Imaging™ (DownScan)

- DownScan Overlay[™] (Overlay)
- FishReveal[™] (FishReveal)
- Genesis® (Genesis)
- StructureMap[™] (StructureMap)

著作権

Copyright © 2019 Navico Holding AS.

保証

保証登録は、当社のユーザー登録ページより申請願います。 https://out-break.com/form/lowrance/

コンプライアンス声明

宣言

コンプライアンスに関連する宣言は以下をご参照願います。 www.lowrance.com

ヨーロッパ

Navicoは、製品が以下の要件に対する適合性に責任を負っていることを宣言します。

・RED 2014/53/EUの下のCE

アメリカ合衆国

▲ 警告:コンプライアンスに責任を負う者が明確に承認 していない変更や改造を行った場合、ユーザーの機器操 作に対する権限が取り消されることがあります。

オーストラリア・ニュージーランド

Navicoは、製品が以下の要件に対する適合性に責任を負っていることを宣言します。

・2007年のRadiocommunications (無線通信) (Electromagnetic Compatibility (電磁適合性)) 規格のレベル2のデバイス

本マニュアルについて

本マニュアルは、Hook Reveal Seriesユニットの操作について の参照ガイドです。サイズによっては、メニューやダイアログ のスクリーンショットが、お使いの本体の表示とは異なること があります。

これらの本体は、本体に付属しているトランスデューサーの取 付けガイドに記載の仕様内で示されている、ソナービューおよ び周波数に対してのみ対応可能です。

オプションのトランスデューサーアダプターケーブルを介して 追加されているトランスデューサーには、ディスプレイが動作 するように設計されているビューおよび周波数のみ対応可能で す。AIRMARトランスデューサーは、アダプターケーブルを介 しての対応は行っておりません。

マニュアル内では、ユーザーの注意が特に必要な重要な文章は、 以下のように強調されています。

➡注意:コメントや重要な情報についてのユーザーへの注意喚起に使用。

▲ 警告:ケガのリスクや機器/人体への損傷を防ぐた めに注意して進めることが必要なことを警告するた めに使用。

マニュアルの版数

本マニュアルの記述は、Hook Reveal Seriesに含まれるソフト ウェアの初版に対するものです。マニュアルは新しいソフト ウェアのリリースに合わせ、継続的に更新されています。 最新版の入手可能なマニュアルは、www.lowrance.comから ダウンロード可能です。

ソフトウェアの版数

本体の現行ソフトウェアのバージョンは仕様ダイアログ内に示 されています。仕様ダイアログはシステムダイアログ内にあり ます。

お使いのソフトウェアの情報については、78ページの「*ソフト ウェアの更新」*を参照ください。

L

Preface | Hook Reveal Series Operator Manual

6 |

目次

11 序説

- 11 キー操作
- 12 ホームページ
- 13 アプリケーションページ
- 14 デバイスの登録

15 基本操作

- 15 システムのオン/オフ
- 15 システムコントロールダイアログ
- 16 スタンバイモード
- 16 ディスプレイ照度
- 16 メニュー・ダイアログの使用
- 17 パネル上でのカーソルの使用
- 17 Man Overboard(船外転落)ウェイポイント
- 18 スクリーンショット

19 システムのカスタマイズ

- 19 ホームページ壁紙のカスタマイズ
- 19 データのオーバーレイ
- 20 カスタムページ
- 21 マルチパネルページの分割の調整

23 チャート

- 23 チャートパネル
- 23 チャートデータ
- 24 チャートタイプの選択
- 24 船マーク
- 24 チャートの尺度
- 24 チャートのパニング
- 24 ウェイポイント、ルート、航跡
- 24 航法
- 24 チャート項目についての情報表示
- 25 チャートパネル上のオブジェクト検索
- 26 その他のオプション
- 28 C-MAPチャート
- 29 Navionicsチャート
- 33 チャートの設定

L

35 ウェイポイント、ルート、航跡

35 ウェイポイント、ルート、航跡ダイアログ
35 ウェイポイント
37 ルート
41 航跡

44 航法

- 44 航法について
- 44 メニューオプション
- 44 カーソル位置への航行
- 45 ウェイポイントへの航行
- 45 ルートの航行
- 45 ナビゲーションの設定

47 ソナー

47 ソナー画像
47 画像のズーム
48 画像上でのカード移動
48 履歴の閲覧
48 ソナーログデータの記録開始
49 ソナーログデータの記録停止
50 記録した音響データの閲覧
50 画像設定のカスタマイズ
50 カスタム・アイスフィッシングモードオプション
53 その他のオプション
55 ソナーの設定

58 サイドスキャン

- 58 サイドスキャンについて
- 58 サイドスキャン画像
- 58 画像のズーム
- 59 パネル上のカーソル使用
- 59 履歴の閲覧
- 60 サイドスキャンデータの記録
- 60 サイドスキャン画像の設定

63 ダウンスキャン

63 ダウンスキャンについて

Contents | Hook Reveal Series Operator Manual

8

- 63 ダウンスキャンパネル
- 63 ダウンスキャン画像のズーム
- 63 ダウンスキャンパネル上でのカーソル使用
- 64 ダウンスキャン履歴の閲覧
- 64 ダウンスキャンデータの記録
- 64 画像設定のカスタマイズ

68 ストラクチャーマップ

- 68 ストラクチャーマップについて
- 68 ストラクチャーマップ画像
- 69 ストラクチャーマップのヒント
- 69 ストラクチャーマップデーター
- 69 マッピングカードとストラクチャーマップの併用
- 70 ストラクチャーのオプション

71 アラーム

- 71 アラームシステム
- 71 メッセージの種類
- 71 アラームメッセージ
- 71 メッセージの確認
- 72 アラームのダイアログ

73 ツール

- 73 設定
- 76 ウェイポイント、ルート、航跡
- 76 インフォ
- 76 ストレージ

77 メンテナンス

- 77 予防メンテナンス
- 77 ディスプレイユニットのクリーニング
- 77 コネクターのチェック
- 77 サービスアシスタント
- 78 ソフトウェアのアップデート
- 78 システムデータのバックアップ
- 81 バックアップファイルのインポート

L

- **82 シミュレーター** 82 リテールモード
- 82 ミュレーターソースファイル
- 83 高度なシミュレーターの設定

序説

キー操作



- 1 ページ 押すとホームページが開きます。
- ズームイン/アウト 押すと画像がズームします。
 2つのキーを同時に押すと、ボート位置にMOB(船外転落)ウェイポイントを作成します。
- 3 矢印-全てのフルスクリーンページ:押して画像上でカー ソルを移動します。押して画像を任意の方向に振りま す。マルチパネルページ上:押してパネルを選択しま す。メニューおよびダイアログ上:押すとオプション をハイライトします。
- 4 イクジット(X)-最大化したマルチパネルページ 上:押すとマルチパネルページに戻ります。メニ ューおよびダイアログ上:押すと前のメニューに 戻ったり、ダイアログを閉じます。
- 5 メニュー/エンター-メニューおよびダイアログが 起動していない全てのフルスクリーンページ上: 押すとメニューを表示します。マルチパネルペー ジ上:押すと現在選んでいるパネルを最大化しま す。メニューおよびダイアログ上:押すと選択を 決定します。
- 6 カーソル/ウェイポイント-押すとカーソルが有効/無 効になります。長押しでウェイポイントを保存しま す。
- 7 電源 押すとシステムコントロールダイアログが開きます。 長押しで、本体電源をオン/オフします。

マイクロSDカード

モデルによって、カードリーダーは本体側面もしくは前面のい ずれかにあります.





ホームページ

ページキーを押せば、どの操作からでもホームページにアクセ スできます。

⇒注意:ホームページ上のページアイコンはモデルによって 異なります。



- 1. ツールパネル-ボタンを選択し、タスクの実行または保存した 情報を閲覧するダイアログにアクセスします。
- アプリケーションページアイコン ボタンを選択し、アプリケーション ページを表示します。
- 3. カスタマイズ カスタムモードを起動し、カスタムページの削除・ 編集をします。

アプリケーションページ



- 1 アプリケーションパネル
- 2 メニュー パネル特有のメニュー
- 3 システムコントロールダイアログ 基本的なシステム設 定へワンタッチでアクセス
- **4** ダイアログ ユーザーへの情報もしくは、ユーザーからの入力
- 5 **アラームメッセージ**-危険な状況またはシステムの 故障が発生した場合の表示。

システムに接続されている各アプリケーションは、パネル上に 表示されます。

カスタムページ

システムには予め設定されたカスタムページが1つ付いており、自身で作成することができます。すべてのカスタムページは修正、削除可能です。カスタムページを追加するには、 P.20の「新規カスタムページの追加」を参照ください。 カスタムページの編集または削除は、P.21の「新規カスタ ムページの編集または削除」を参照ください。

マルチパネルカスタムページ

カスタムページでは最大4つのパネルを表示できます。P.20の *新規カスタムページの追加」*を参照ください。

Introduction | Hook Reveal Series Operator Manual



マルチパネルページ内のパネルサイズはシステムコントロール ダイアログで調整可能です。P.21 *「マルチパネルページの分割* の調整/を参照ください。

- いずれのパネル上でもカーソルは使えず、矢印キーを使って有効なパネルを切り替えます。有効なパネルは周りがオレンジ色で示されます。
- メニュー/エンターキーを押して有効なパネルを最大化します。イクジット(X)キーを押して、マルチパネルページに戻ります。
- パネルメニューを表示するには、まず最大化する必要があります。最大化した後、メニュー/エンターキーを(再び)押して最大化された枠のメニューを表示してください。イクジット(X)キーを押してメニューを閉じ、イクジット(X)を再度押してマルチパネルページに戻ります。
- カーソル/ウェイポイントキーを押して、有効または最大化したパネル上のカーソルを有効にし、矢印キーを使ってカーソルを移動します。カーソル/ウェイポイントキーを再度押してカーソルを消します。

デバイスの登録

スタートアップ中にお使いのデバイスの登録をおすすめし ます。システム設定ダイアログ内の登録オプションを選ん で登録することも可能です。

登録は以下で可能です。

- インターネットアクセスしているスマートデバイスから
- 電話から

2

基本操作

システムのオン/オフ

電源キーを押して、システムをオンにします。 電源キーを長押しして、本体をオフにします。 シャットダウンが終了する前にキーを放すと、電源オフのプロ セスはキャンセルされます。

システムコントロールダイアログからでもユニットをオフにす ることが可能です。

最初のスタートアップ

最初にスタートアップした時、またリセットした後、本体 には一連のダイアログが表示されます。ダイアログの指示 に従って、基本設定を行ってください。 さらにセットアップをすすめ、システム設定ダイアログを 使って後で設定を変更することができます。

システムコントロールダイアログ

システムコントロールダイアログで、基本的なシステム設定 に簡単にアクセス可能です。電源キーを短く押すと、ダイア ログが表示されます。



機能の有効化

設定またはオンオフを切り替えたい機能のアイコンを選んでく ださい。

オンオフを切り替える機能については、上記のデーターオー バーレイアイコンに示すように、アイコンの上にオレンジ色 のバーが出て機能が有効であることを示します。

Basic operation | Hook Reveal Series Operator Manual

スタンバイモード

スタンバイモードでは、ソナーおよびスクリーンのバックラ イトがオフになって節電します。システムはバックグラウン ドで実行され続けます。

スタンバイモードは、システムコントロールダイアログから 選びます。

電源キーを短く押して、スタンバイモードから通常操作に切り 替えます。

ディスプレイ照度

明るさ

電源キーを連打すると、プリセットされたバックライトの明るさ を切り替えることができます。

ディスプレイのバックライトは、システムコントロールダイアロ グからも調整可能です。

夜間モード

夜間モードは、システムコントロールダイアログから調整可能 です。

夜間モードオプションで、光が乏しい条件下でのカラーパレッ トを最適化します。

メニュー・ダイアログの使用

メニュー

メニューは、システム操作および設定の調整に使用します。 メニュー/エンターキーを押してページメニューを表示します。 メニュー/エンターキーを再度押してメニューを閉じます。 矢印キーを使ってメニューのオプションをハイライトし、メニ ュー/エンターを押して選択を決定します。 スクロールバー:メニュー内でスクロールバーを有効にして、 矢印キーを使って調整します。メニュー/エンターキーを押して 調整を保存します。 カーソルの状態 (有効/無効) はメニューのオプションで変更し

ます。

ダイアログボックス

矢印キーを使ってダイアログのオプションをハイライトし、メ ニュー/エンターキーを押して選択を決定します。

ダイアログにユーザー情報を入力するために必要な際は、数字 とアルファベットのキーボードが自動的に表示されます。 入力の保存またはキャンセルでダイアログが閉じます。また イクジット(X) キーを押してダイアログを閉じることもできま す。

パネル上でのカーソル使用

カーソルは、位置決め、アイテム選択に使用できます。 デフォルトでは、カーソルはパネル上に表示されません。 カーソル/ウェイポイントキーを使用してカーソルを表示させ、 矢印キーを使用してカーソルをパネルトで動かしてください。 カーソルがGPSパネル上で有効の時は、カーソル位置ウィンド ウが表示されます。ウィンドウの下部には、ボートからカーソ ルまでの距離と方位が示されます。

カーソルがソナーパネル上で有効の時は、ウィンドウにはカー ソル位置の水深と水温も示されます。パネルからカーソルとカ - ソルのエレメントを消すには、カーソル/ウェイポイントキー を押します。

Man Overboard(船外転落)ウェイポイント

非常事態が発生した場合は、ボートの現在位置にMan Overboard (MOB) (船外転落) ウェイポイントを保存できます。

MOBの作成

Man Overboard (MOB)ウェイポイントの作成方法:

ズームイン(+)アウト(-)を同時に押します。

MOB機能を有効にすると、以下の動作が自動的に実行されます。

- ボート位置にMOBウェイポイントを作成します。
- ディスプレイがズームインされたチャートパネルに切り 替わり、ボート位置を中心とします。
- システムが、MOB ウェイポイントに戻るための航法情報を 表示します。

複数のMOBウェイポイントを作成できます。ボートは、初期 のMOBウェイポイントへの航法情報を示し続けます。次の MOBウェイポイントへの航法は、手動で行う必要があります。 Basic operation | Hook Reveal Series Operator Manual



17

MOBの削除

MOBが有効になっているときは、メニューから MOBウェイポ イントを削除できます。

MOBへの航法の停止



メニューから航法を取り消すまで、システムはMOBウェイポ イントまでの航法情報を表示し続けます。

スクリーンショット

スクリーンショットの撮影方法:

ページキーと電源キーを同時に押します。



システムのカスタマイズ

ホームページ壁紙のカスタマイズ

ホームページの壁紙はカスタマイズが可能です。システム内に 含まれている写真から選ぶか、.jpgまたは.pngフォーマットの 自分の写真を使うかを選ぶことができます。 ファイルブラウザで閲覧できるすべての場所にある画像が利用

可能です。画像を壁紙に選ぶと、壁紙フォルダー内に自動的に コピーされます。



データのオーバーレイ

データ情報をページ上にオーバーレイとして表示させることが 可能です。

データオーバーレイのオン/オフ

システムコントロールダイアログからデータオーバーレイ アイコンで選ぶと、有効なページについてオーバーレイデ ータをオンオフできます。データオーバーレイがオンのと きは、オレンジ色のバーがアイコン上に現れます。

オーバーレイデータの編集

システムコントロールダイアログ上のオーバーレイの編集ア イコンを使って編集メニューのオプションにアクセスして、 以下を行います:

- 有効なパネルに新しいデータオーバーレイを追加。
- 選んだデータオーバーレイを削除。
- 選んだデータオーバーレイを変更し、異なるデータを表示。

Customizing your system | Hook Reveal Series Operator Manual





- 選んだデータのオーバーレイの見え方を設定(デジタル かアナログか、サイズなど)。
- アイテムを選んで位置を変え、その後Moveメニュ ーのオプションへ。矢印キーを使用して選んだアイ テムを移動。

カスタムページ

新規カスタムページの追加

最大9ページが可能です。カスタムページでは最大4個のパネル が表示可能です。

 ホームページ上のページの追加アイコンを選び、ページ 編集ダイアログを開きます。



 矢印キーを使ってパネルをハイライトしメニュー/エンター キーを押します。パネルがそのページに追加されます。

3. (オプション)ステップ2を繰り返して、追加のパネルを追加 します。最大4パネルが可能です。

- レイアウトの変更:矢印キーを使ってレイアウトのオプションを選びます。このオプションを使ってパネルをどのように表示するかを指定します。

- パネルの削除:矢印キーを使ってダイアログ右側の枠を選び、パネル右上の削除(X)アイコンをハイライトします。メニュー/エンターキーを押します。パネルがダイアログ右側の枠から消えます。

パネルの移動:矢印キーを使ってダイアログ右側の枠を選び、
 移動させるパネルの左上の矢印アイコンをハイライトします。
 メニュー/エンターキーを押します。大きな矢印アイコンが表示されます。矢印キーを使用してハイライトしたパネルを移動
 させます。メニュー/エンターキーを押して調整を保存します。

4. ページレイアウトの保存

システムは新しいカスタムページを表示し、新しいページ のアイコンがホームページ上に含まれます。

カスタムページの編集・削除

ホームページ上で、矢印キーを使用してカスタマイズしたオプションをハイライトし、メニュー/エンターキーを押してカスタマイズしたオプションをオンにします。



- 2. 矢印キーを以下のために使用します:
 - カスタムページアイコン上のXオプションを選び、メニュー/エンターキーを押してページを消去。
 - カスタムページアイコン上のツールオプションを選び、メニュー/エンターキーを押してページ編集ダイアログを表示。
- カスタムページ編集ダイアログを使って、パネルをレ イアウト変更、追加、および消去します。P.20の「新 規カスタムページの追加」のステップ3を参照ください。
- 4. 変更を保存または破棄して編集モードを終了します。

マルチパネルページの分割の調整

- 1. マルチパネルページを開きます。
- 電源キーを短く押して、システムコントロールダイアログを 開きます。
- 分割の調整オプションを選びます。カーソルの矢印ア イコンがマルチパネルページに表示されます。
- 4. 矢印キーを使って分割したい位置に移動させます。
- 5. メニュー/エンターキーを押して分割の調整を保存します。

システムコントロール							
()	な設定		兴 791043	(: 夜間モード			
7-9-0 t-1-1	し て オーバーレイ の編集	2/1-02	》 》十一条傳 止	LOWRANCE			





<u>チャート</u> チャートパネル



- A コンパス
- B ボート

C 地図縮尺

- D グリッドライン*
- E レンジリング*

*オプションチャート項目。オプションチャート項目はチャート設定ダイアログから個別にオンオフすることが可 能です。

チャートデータ

システムには予め地図作成法が読み込まれています。 選択可能な対応チャートについては、製品のウェブサイトを参 照ください。

- ⇒注意: チャートメニューのオプションは、お使いのチャ ートに応じて決まります。
- ⇒注意:チャートカードが取外されている場合、システムが予め読み込んだ地図作成自動的に切り替わることはありません。カードを再度挿入するか、予め読み込んだ地図作成法に手動で切り替えて戻すまでは、低解像度のチャートが表示されます。

チャートタイプの選択

チャート設定ダイアログ内で利用可能なチャートタイプの いずれかを選んで、チャートパネル上に示されるチャート タイプを指定します。P.33の「チャートの設定」を参照く ださい。

船マーク



10 nm

24

GPSポジションロックが有効な場合、ボートマークはボ ート位置を示します。GPSポジションが無効の場合は、 ボートマークに?が表示されます。

チャートの縮尺

ズームキーを使用して、チャート上でズームイン/アウトしま す。

地図縮尺とレンジリングの間隔(オンにしているとき) は、チャ ートパネルの右下角に示されています。

チャートのパニング

矢印キーでチャートを任意の方向へ移動できます。チャートパ ネルの端にカーソルを合わせ、希望の方向へ動かします。 カーソル/ウェイポイントキーを押すと、カーソルが非表示 になります。この時、チャートの中心にボート位置がきます。

ウェイポイント、ルート、航跡

ページ上で、ウェイポイント、ルート、航跡を配置・管理で きます。詳細は、P.35の『ウェイポイント、ルート、航跡』 を参照ください。

航法

カーソル、ウェイポイントへの航行、もしくはルート上の航行 を行うことが可能です。P.44の「航法」を参照ください。

チャート項目についての情報表示

カーソルをチャート項目、ウェイポイント、航跡またはル ート上に合わせると、選んだ項目についての情報がポップ アップで表示されます。

Charts | Hook Reveal Series Operator Manual

⇒注意:基本項目の情報を見るには、ポップアップの情報 がチャート設定内で有効にされる必要があります。

メニューから情報のオプションを選んで、カーソルの傍に 項目のリストを表示します。リストから項目を選んで、そ の項目で利用可能な全情報を表示します。



チャートパネル上のオブジェクトの検索

検索メニューのオプションを選んで、チャートの項目を検索し ます。



その他のオプション



チャートオーバーレイ

チャートパネル上のオーバーレイを増やすことができます。 オーバーレイをひとつ選ぶと選択したオーバーレイに対す る基本的なメニューオプションを含むチャートメニューが 開きます。

オーバーレイメニューオプション詳細は、下記もしくは本マニ ュアルの別のセクションで説明しています。

ストラクチャーオーバーレイ

ストラクチャー(ストラクチャーマップ)情報は、GPSパネル上 にオーバーレイとして表示させることができます。 →注意:ストラクチャーオーバーレイ(ストラクチャーマップ) は、サイドスキャンが使用できるトリプルショットモデルのみ 適応しています。

ストラクチャーオーバーレイを選択すると、GPSメニュー が開き、サイドスキャン(ストラクチャーマップ)用の基本 機能が表示されます。P.68の「ストラクチャーマップ」を 参照ください。

ジェネシスライブ

⇒注意:LOWRANCEもしくはC-MAPチャートソースを閲覧している時のみ、利用できます。

ライブソナーサウンディングを基にマッピングしながら、等深 線のオーバーレイをリアルタイムに作成します。ジェネシスラ イブソナーサウンディングは、本体のメモリーカード上に記録 され、メモリーカードから読み込めます。

メモリーカードが入っていない場合、またカード容量が不 足の場合、機能自体がオフになり、メニュー上のオプショ ンは無効になります。

- ライブソナーサウンディングログに含まれるエリアをさら に通過することで、ジェネシスライブマップはより良いも のが作成できます。
- ・ ジェネシスライブは最大20ノットまで正確です。

➡注意:ジェネシスライブデータは潮汐の補正については 調整されません

26

ジェネシスライブメニューのオプション

透過度

Transparency Min Contour Interval High Depth palette Safety shading Safety depth 2m

Back

enesis live

オーバーレイの透過度を調整します。

等深線の間隔

実際に見える等深線の密度を明確にします。 水深パレット

水深を色分けするカラーパレットをコントロールします。

- チャートの同期:チャートメニュー内で明示される水深パレットと同じパレットにジェネシスライブのレイヤーを同期させます(チャートオプション、ビュー、水深パレット内で)。このオプションにより、カスタムパレットをチャートメニュー内で明示し、ジェネシスレイヤーに適用することができます。
- ナビゲーション-:ナビゲーションパレットを使用します。
- 水深陰影表示: 水深陰影パレットを使用します。
- ペーパーチャート:ペーパーチャートパレットを使用します。
- 安全を陰影表示:設定した安全な水深よりも浅い色に影を 付けます。ジェネシスライブのメニュー上のセーフティ ーデプスオプションも有効にします。

安全を陰影表示/セーフティーデプス

安全な水深の設定をします。安全な最低水深よりも浅いエ リアに影をつけます。このオプションはセーフティーシェ ーディングパレットが選択されている場合のみ利用可能で す。

チャート方位

チャートがパネル上でどう回転するか特定します。パネルの右 上角にある方位マークは北を指します。





コースアップ

ノースアップ

北を上にしてGPSプロッター画像を表示します。

コースアップ

チャートの向きは、航行しているか否かによります:

- ・ 航行時:希望のコースが上向きになります。
- 航行中以外:ボートが実際に移動している方向(COG)が 上向きになります。

ルックアヘッド

パネル上の船アイコンを移動し、ボート前方のビューを最大化 します。

C-MAPチャート

C-MAPチャートで可能なメニューのオプションをすべて下 記に解説します。利用可能な機能およびメニューのオプショ ンは、ご利用中のチャートによって異なります。本セクショ ンではC-MAPチャートのメニューを示しています。

⇒注意:表示されているチャートで利用できない機能は、 メニューオプションがグレー表示になっています。

C-MAP特有のチャートオプション

チャートの詳細

- 高:使用しているチャートで利用可能なすべての情報を表示。
- 中:航行に十分な最低限の情報を表示。
- 低:削除不可能な基本情報を表示。すべての地理範囲に必要な情報を含む。安全航行を十分に意図したものではない。

ジェネシスレイヤー

ジェネシスレイヤーは、品質チェックをパスしたジェネシスユ ーザーが提供する高解像度の等深線を表示します。 このオプションは、チャート画像上でジェネシスレイヤーのオ ンオフを切り替えます。 C-MAPチャートがジェネシスレイヤーデータを含む場合に のみ利用可能です。



I

Chart detail Full

Overlay Off

水深パレット

マップ上で使用される水深パレットをコントロールします。

水深フィルター 選択した水深フィルターの限界よりも浅い水深値を除外します。

セーフティーデプス

チャートでは、浅瀬(薄い影)と深間(濃い影)を異なるブルーの 影で区別しています。セーフティーシェード水深パレットを有 効にした後、希望の安全水深限界値を指定します。安全な水深 は、青い影のない水深で限界値を設定します。

チャートカテゴリー

幾つかのカテゴリーおよびサブカテゴリーが含まれます。どの情報を見るかに応じて、カテゴリーを個別にオンオフする ことが可能です。

Chart Categories		
Lake Services		
Nautical Chart		
▶ POI-Other		
Political Boundaries	✓	
Roads		
Topo Boundaries		
▶ Water		
Water Structure		

Navionicsチャート

Navionicsの機能の中には、Navionicsの最新データを必要とす るものがあります。これらの機能については、適当な Navionicsチャートを有していない、もしくはチャートカード が挿入されていなければ、その機能が利用不可能であることを 示すメッセージが表示されます。これらの機能に必要なものの 詳細については、www.navionics.comを参照ください。

Navionicsチャートカードが有効になっていないときに制約を受けている機能を使用しようとした場合にも、メッセージが表示 されます。カードを有効にするには、Navionicsにご連絡願いま す。

Navionics特有のチャートオプション



チャートのオーバーレイ、方位、ルックアヘッドオプシ ョン (本セクションで前述) は、C-MAPとNavionicsチャ ートの両方に共通です。Navionicsに特有のチャートオプ ションを以下に解説します。

コミュニティーの編集

Navionicsの編集を含むチャートレイヤー上で切り替わり ます。これらはユーザーの情報もしくはユーザーがNavionics コミュニティーに読み込んだ編集で、Navionicsチャート内で 利用可能です。

詳細については、お使いのチャートに含まれているNavionics 情報、もしくはNavionicsのウェブサイト: www.navionics.com を参照ください。

ソナーチャート

システムは、Navionicsのソナーチャート機能に対応していま す。ソナーチャートは、高解像度の輪郭の詳細および標準の航 法データを示す、海底地形図を表示します。詳細については、 www.navionics.comを参照ください。

ソナーチャートライブ

ソナーチャートライブは、デバイスがリアルソナーサウンディ ングを基に等深線のオーバーレイを作成するリアルタイム機能 です。

ソナーチャートライブを選択するとメニューが開き、ソナーチャートライブプションが表示されます。

透過度

ソナーチャートライブオーバーレイは他のチャートデータの 上に描画されます。チャートデータは最低限の透過度をもっ て完全に上書きされます。透過度を調整してチャートの詳細 が見えるようにします。

最低水深

ソナーチャートライブの表示で、安全水深として扱うものを 調整します。ソナーチャートライブエリアの色に影響します。 ボートが安全水深に接近すると、ソナーチャートライブエリ アが単色のグレー/白から赤へと徐々に変化します。



SCL履歴

チャートオーバーレイ上に以前記録したデータを表示します。

SC間隔

ソナーチャートとソナーチャートライブ等深線の間隔をコントロール します。

Navionics Dynamic潮流アイコン

静止した潮流情報に使用されるひし形アイコンの代わりに、ゲ ージと矢印で潮流を示します。

Navinonicsチャートで利用可能な潮流データは、特定の日時に 関連づけられています。システムでは、矢印と/もしくはゲー ジで潮流の発達を経時的に示します。



活発な潮汐情報

活発な海流情報

以下のアイコンと記号が使用されます:

海流スピード

13 17

矢印の長さは速さを表し、記号は流れの向きに応じて回転 します。海流速度は矢印記号内に示されています。赤い記 号は海流の加速、青い記号の減速を表します。

潮の高さ



ゲージは8段階で、測定日の絶対最高/最低値に応じて設定されます。赤い矢印は満潮、青い矢印は干潮を表します。 →注意:すべての数値はユーザーが設定した関連する単位系 (測定単位)で示されます。 イージービュー チャートの項目と文字のサイズを拡大する機能です。 ➡注意:この機能が有効であることを示すものは、チャート 上にはありません。

フィッシングレンジ

Navionicsの有する異なる色から水深レンジを選択します。 これにより、釣り目的に合った特定水深レンジをハイライト することができます。レンジの正確さは基礎になるチャート データ次第です。チャートの等深線が5m間隔の時、陰影は 一番近い等深線に合わせられます。



水深ハイライトレンジなし

水深ハイライトレンジ:6m-12m

シャローウォーターハイライト

0から選択した水深(最大10m/30ft)までのエリアをハイライトします。



表示タイプ

ナビゲーションチャートの記号や色、国際もしくは米国の 表示タイプに対する文言などのマリンチャート情報を表示 します。

安全を陰影表示/セーフティーデプス

Navionicsチャートでは、異なる青色の陰影を使用して、浅瀬 と深間を別します。 選択した限界に基づく安全水深は、陰影なしで描画されます。 →注意:組込まれたNavionicsデータベースでは、20mまでの データを備えており、それ以上はすべて白くなります。

チャートの詳細

異なるレベルの地理レイヤー情報を提供します。

チャートの設定

システムコントロールダイアログの設定ダイアログを選択し、 チャート設定のダイアログにアクセスします。

Settings				
٩	System	Chart source	C-MAP	~
		Popup information	ON	
R	Navigation	Range rings		OFF
	Chart	Grid lines		OFF
		Waypoints	ON	
• 1))	Sonar	Routes	ON	
		Trails	ON	
<u></u>	Alarms	Course extension		OFF
·]-	Units			*
\$	Simulator			

チャートソース チャートカードを挿し込むと、チャートのソースが変更します。

ポップアップ情報

項目を選んだ際に、パネル項目の基本情報を表示するかどう かを決めます。

レンジリング

ボートから他のパネルおぷじぇくとまでの距離を表すため に使用できます。

レンジ尺度はシステムによって自動的に設定され、パネル 尺度と合わされます。

グリッドライン

パネル上の緯度経度の格子線表示をオンオフします。

ウェイポイント、ルート、航跡

パネル上のこれらの項目の表示をオンオフします。

コース延長ライン

パネル上の実航路軌跡(COG)延長線の表示をオンオフしま す。COGは、GPSからの情報に基づいています。

延長線の長さ

コース延長オプションがオンになっている時、表示する線 の長さを指定します。

ソナーチャートライブ潮汐補正

選択すると、潮汐補正機能が近隣の検潮所(利用可能の際)から の情報を拾い、ソナーが記録する際にソナーチャートライブが 使用する水深値を調整します。

5

ウェイポイント、ルート、航跡

ウェイポイント、ルート、航跡ダイアログ

ウェイポイント、ルート、航跡ダイアログから、高度な編集 機能およびこれら項目の設定にアクセスできます。 ダイアログは、ホームページのツールパネルからアクセスし ます。



ダイアログ上のメニューアイコンを選んで、追加のオプション にアクセスします。



ウェイポイント

ウェイポイントは、チャートパネル上に位置を決めてユーザー

Waypoints, routes, and trails | Hook Reveal Series Operator Manual がマークするポイントです。

各ウェイポイントは経度と緯度の正確な位置を有していま す。ウェイポイントを使用して、後で戻る可能性のある位 置をマークします。二つ以上のウェイポイントを組み合わ せてルートを作成することも可能です。

ウェイポイントの保存

カーソル/ウェイポイントキーを長押しすると、新しいウェイポ イントを保存できます。

- カーソルが無効のときは、ウェイポイントはボート位置に置かれます。
- カーソルが有効のときは、ウェイポイントはカーソル位置に 置かれます。

ウェイポイントの移動

- 1. カーソル/ウェイポイントキーを押す。
- 2. カーソルを操作してウェイポイントの上に置く。
- 3. メニューを有効にし、メニュー内のウェイポイントを 選ぶ。メニューが開き、移動オプションが表示される。
- 4. メニュー内の移動オプションを選ぶ。
- 5. 矢印キーを使ってウェイポイントを新しい位置に移動させる。
- 6. メニュー/エンターキーを押す。

新しい位置でウェイポイントが保存されます。

ウェイポイントの編集

ウェイポイントの編集ダイアログから、ウェイポイントに関するすべての情報を編集できます。

ダイアログは、ウェイポイント上にカーソルを移動し、メ ニュー内のウェイポイント、編集メニューのオプションを選 ぶと有効になります。ダイアログは、ホームページのツール パネル上のウェイポイント、ルート、航跡ダイアログを有効 にすることでもアクセスできます。ウェイポイントタブを選 び、編集したいウェイポイントを選びます。

Edit Waypoint				
023				
28.1 NM 185 °M		۲	~ 📀	~
N 25°36.862' W 080°07.371'		Display	icon and nam	e 🗸
Created: 7:43 08/15/2017				
Delete	Goto			




ウェイポイントの削除

ウェイポイント編集ダイアログからウェイポイントを削除する か、またはウェイポイントが有効になっている時に削除メニュ ーのオプションを選ぶことで削除できます。

ウェイポイント編集ダイアログは、ウェイポイント上にカーソ ルを移動し、メニュー内のウェイポイント、削除メニューのオ プションを選ぶと有効になります。

ウェイポイント編集ダイアログは、ホームページのツールパネ ル上でウェイポイント、ルート、航跡ダイアログを有効にする ことでもアクセス可能です。ウェイポイントタブ、削除したい ウェイポイント、削除のオプションを選択します。 同じ方法でMOBウェイポイントを削除可能です。

ウェイポイントアラームの設定

作成する個々のウェイポイントについて、アラーム範囲を設定 できます。 アラームは、**ウェイポイント編集**ダイアログ内で設定します。 →注意:ボートが定義した半径内に入った時にアラームを有効 にするには、アラームダイアログ内のウェイポイント半径アラ ームをオンに切り替える必要があります。詳細については、 P.72の「アラームダイアログ」を参照ください。



ルート

ー連のルートポイントで構成されるルートは、航行したい順序 で入力します。 パネル上でルートを選ぶと緑色に変わり、ルート名が表示され ます。

ページ上での新しいルートの作成

- 1. メニューから新しいルートのオプションを選ぶ。
- 2. カーソル/ウェイポイントキーを押してパネル上でカ ーソルを有効する。
- 矢印キーを使って、カーソルをパネル上の最初のルート ポイントに移動する。
- 4. メニュー/エンターキーを押してルートポイントを作成する。
- ステップ3と4を繰り返し、ルートが完成するまでパネ ル上に新しいルートポイントを位置決めし続ける。
- 6. 完成したら、イクジット(X) キーを押してルートを保存する。







パネルからのルートの編集

ルート上にカーソルを置き、メニュー内でルートを選ぶとルートの編集が可能です。メニュー内の編集オプションを選びます。 編集ルートダイアログが開きます。 ダイアログは、ホームページのツールパネル上でウェイポイント、ルート、航跡ダイアログを有効にすることでもアクセス可能です。ルートタブを選び、編集したいルートを選びます。 パネルからルートを編集するには:

- パネル内のルート上でカーソルを操作します。ルートの ポップアップが表示されます。
- メニュー/エンターキーを押し、矢印キーを使用してメニュー内のルートを選びます。追加のオプションを含むメニューが開きます。
 - 編集オプションによってパネル上でルートポイントの 移動および削除が可能です。
 - 詳細オプションで、ルートのオプション設定、名前の 変更および詳細の管理が可能な、ルート編集ダイアロ グが開きます。

Edit Route				
Route()01			N Display
Leg Waypoint			Distance (NM) Bearing (°T)
0 001				
1 002			4012	35
Delete	Sho	w Start.		

- 矢印キーを使って使用したいオプションを選び、メニ ューエンターキーを押します。
- 4. プロンプトに従って変更、変更の保存を行います。

ルートの削除

ルート上にカーソルを置き、メニューのルートを選び、 開いたメニューから削除オプションを選ぶと、ルートの 削除ができます。

I

Route Route003

Details.

Delete

Start from Rpt039

Poute003

既存のウェイポイントを使用したルートの作成

新しいルートダイアログから既存のウェイポイントを組み合わ せて新しいルートの作成が可能です。

ホームページ上でウェイポイント、ルート、航跡のツールを選んだ時に表示されるダイアログ内でルートタブを選ぶことで、 ダイアログが有効になります。次に、新しいルートのオプショ ンを選びます。

	Waypoints Routes Trails	
=	New Route	
New Route Route001	Route039	ON Display
Route002	Leg Waypoint Dista	nce (NM) Bearing (°M)
	Remo Select Waypoint To Insert	

ルート編集ダイアログから、既存のルートに既存のウェイポイントを挿入することも可能です。

ルート編集ダイアログから、ウェイポイントを挿入したいリス トのルートポイントを選び、メニュー/エンターキーを押しま す。

Edit	t Route			
R	loute1		ON	Display
Leg				
	Rpt001 (2)		3.15	204
1	Rpt002 (4)		0.91	165
2	Rpt003 (2)		3.03	244
3	Rpt004 (2) Se Insert Remove	lect Waypoint To Insert New Waypoint	1 44	23

航跡からルートへの変換

航跡編集ダイアログから航跡をルートに変換できます。航跡を 有効にし、航跡のポップアップもしくは航跡メニューのオプシ ョンを選ぶと、ダイアログが有効になります。

航跡編集ダイアログは、ホームページ上ウェイポイントツール を選ぶことでもアクセス可能です。

Edit Trail					
Trail001					
1	ON	Display	ON	Record	
Description					
	Create rou	ıte			
Delete	Show	Save		Cancel	

ルート編集ダイアログ

ルート編集ダイアログを使用して、ルートポイントの追加および削除、ルートのプロパティの変更が可能です。

ルート上にカーソルを置いてメニュー内でルートを選ぶとダイ アログが有効になります。

ホームページのウェイポイント、ルート、航跡のツールを選ん だ時に表示されるダイアログ内でルートタブを選ぶことでも、 ダイアログにアクセス可能です。

名前を変更するには、名前のフィールドを選びます。ディスプ レイをオンにして、パネル上でルートを表示します。



航跡



航跡はボートの履歴経路を図形として表したもので、どこを航 行したかを辿ることができます。 航跡編集ダイアログから、航跡をルートに変換可能です。 P.40の*「航跡をルートに変換*/を参照ください。

	Routes	Trails		
≣		Display	Record	Color Points
New Trail				
Trail001		ON	OFF	a 20
Trail002		ON	ON	✓ 32

工場において、システムはパネル上のボートの動きを自動的に 追跡、描画するように設定されています。システムは、長さが 最大点数に達するまで航跡を記録し続け、その後自動的に最も 古い点から上書きを開始します。

自動追跡機能(記録)は、航跡編集ダイアログでオフにすること が可能です。

新しい航跡の作成

ホームページのウェイポイント、ルート、航跡ツールを使 用し、航跡タブを選んで、航跡ダイアログから新しい航跡 を開始することができます。

航跡の設定

航跡は、長さが記録の頻度に応じて決まる線分で結ばれた 一連の点でできています。 時間設定、距離に基づいて航跡ポイントを位置決めするか、 またはコースの変更を登録した時にシステムに航跡ポイント を自動的に位置決めさせるかを選ぶことが可能です。

⇒注意:航跡オプションをパネル設定ダイアログでオンにしないと、表示は出ません。

-	Settings	📥 Waypoints, r	outes, trails		📕 ମ୍ବି Info	🖿 Sto	rage	
		W	aypoints	Routes	Trails		_	
Ξ					Display	Record	4 C	olor Point
N I	New							
ТС	Settings	Logging typ	e Auto	~		OFF	OFF 2	445
т. (Delete all			М	01			
u I	Find			~	ON	_	UFF Ø	
Tr (Close				ON	ON		

航跡のカラーリング

航跡に色を付けるには:

 航跡ダイアログから航跡を選び、航跡編集ダイアログ内 で航跡全体についての色を設定します。



L

航法

Route001



航法について

本システムが備えているナビゲーション機能で、カーソルの位置へ、ウェイポイントへ、またはあらかじめ設定したルートに 沿って航行することが可能です。 ウェイポイントの位置決め、ルートの作成の詳細については、 P.35の「*ウェイポイント、ルート、航跡」*を参照ください。

メニューオプション

メニューオプションを使用して:

・ カーソル位置へ航行する

ウェイポイントへ航行する。

Cursor	•	ルートを航行する。
Goto Waypoint-006		

航行中は、メニューが開き以下のオプションを提供します:

- ・ ルート航行時のウェイポイントのスキップ。
 - カーソル、ウェイポイント、ルートへの航行を再開。
 - ・ カーソル、ウェイポイント、ルートへの航行を取消。

カーソル位置への航行

チャート/GPSプロッターまたはソナーパネルのカーソル位置 への航行を開始することが可能です。 パネル上で選択した目的地にカーソルを合わせ、メニュー内の Goto カーソルオプションを選びます。

➡注意:Goto カーソルメニューは、航行中は利用できません。

ウェイポイントへの航行

パネル上のウェイポイントへの航行を開始することが可能 です。ウェイポイント上にカーソルを合わせ、 メニュー内 のウェイポイントから、Gotoウェイポイントオプションを 選びます。

ルートの航行

カーソルをルート上に置き、メニュー内のルートからルート開 始オプションを選択して、航行を開始することができます。 ルートの航行を開始したら、ナビゲーションメニューオプショ ンを選んで航行の取消し、ウェイポイントのスキップ、現在の ボート位置からのルートの再開を選びます。

ナビゲーションの設定

Settin	gs		
٩	System	Arrival radius	0.05 NM
Navigation	XTE limit	0.05 NM	
	nangadon	XTE Alarm	ON
۲	Chart	Trails	
•1))	Sonar	Logging type	Auto 🗸
_	Alarms	Distance	1.00 NM
·]	Units		S sec 🗸
-	Simulator		

到達範囲

目的地のウェイポイントの周りに、見えない円を設定します。 その範囲内に入ると、ボートはウェイポイントに到達したとみ なします。

XTEリミット

選択したルートから逸れることが可能な距離を定め、ボート がこの限度を超えた時に、アラームが発せられます。

XTEアラーム(航跡交差エラー)

XTEアラームをオンオフします。

航跡

航跡の設定が調整できる航跡ダイアログを開くと、航跡は 航行用のルートに変換されます。P.41の「*航跡」*を参照く ださい。

記録の種類

時間、距離に基づいて航跡ポイントを記録するか、またはコー ス変更を登録した時に本体にポイントを自動的に位置決めさせ るかを選ぶことが可能です。 航法の設定ダイアログで以下のログの種類の何れかひとつを指 定します。

- オート-コース変更が登録されると、本体が自動的にポイント を位置決め。
- 距離-ディスタンスフィールドを選んで、記録したい距離を入力。
- ・時間 タイムフィールドを選んで、記録したい時間を入力。

7

ソナー機能によってボート下の水中とボトムを見ること ができ、魚群探知と水底調査が可能となります。

ソナー画像

ソナー



- 1 フィッシュ
- 2 実速度*
- 3 水深*
- 4 水温*
- 5 周波数
- 6 ボトム
- 7 レンジ尺度

修正可能なオプションのソナーデータのオーバーレイ。 P.19の「データのオーバーレイ」*を参照ください。

画像のズーム

ズームキーを使用して、画像のズームが可能です。 ズームレベルは、画像の左下に表示されます。 カーソルを有効にせずにズームを行うと、海底はスクリーンの 下の近くに保たれます。カーソルが有効の場合は、本体はカー ソルで指した場所をズームします。

分割スクリーンで画像をズームし、ズームバーを表示できます。 P.53の分割スクリーン*「ズーム」*を参照ください。

画像でのカーソルの使用

画像をカーソルで指すと、スクリーンは一時停止し、カー ソル位置の水深が示され、情報ウィンドウと履歴バーが有 効になります。

履歴の閲覧

画像のパニングにより、ソナー履歴を閲覧することが できます。画像を左右に振るには、画像上でカーソル を移動します。この時、自動スクロールは停止します。

- ・ 左の矢印キーを使用して、カーソルを画像の左端に移動さ せます。左の矢印キーを押し続けると、画像は左に進み、 過去の画像を表示します。
- 同じように右の矢印キーを使用して画像を右へ進ませ、 最新の画像を表示します。
- 通常のスクロールに戻すには、カーソル/ウェイポイン トキーを押して画像からカーソルを消します。

ソナーログデータの記録開始



ログソナーダイアログは、システムコントロールまたはソナー 設定ダイアログから有効にします。





データが記録されると、左上角に赤い記号が点滅し、スク リーンの下に定期的にメッセージが表示されます。

ファイル名

記録(ログ)の名前を指定します。

ファイルのフォーマット

ドロップダウンから、slg (ソナーのみ)、xtf (ストラクチャーの み*)またはsl2 (ソナーおよびストラクチャー) のファイルフォ ーマットを選びます。

⇒注意: xftフォーマットは、サードパーティー製のソナーツ ールを選んだ場合にのみ使用します。

保存するには

本体内部に記録するか、本体に接続している保存デバイスに 記録するかを選びます。

ストラクチャーマップの作成

→注意:このオプションは、サイドスキャンが使えるトリプ ルショットモデルのみで利用可能です。

記録完了時に、サイドスキャン(.sl2) ログをストラクチャーマ ップのフォーマット (.smf) に変換可能です。 サイドスキャンログファイルは、ストレージツールバー機能を 使用して、ストラクチャーマップフォーマットに変換すること も可能です。

残り時間

記録できる、割り当てられた容量の残りを示します。



ソナーログデータの記録停止

システムコントロールダイアログ内で記録停止を選び、次に ログソナーダイアログ内のストップを選んで、すべてのソナ ーログデータについての記録を停止させます。

Logging Sonar	
Filename Time remaining Time elapsed File size	Sonar0001.sl2 12:11:14 0:00:05 397.9 kB
Stop	Close

記録したサウンダーデータの閲覧

内部、外部の両方の保存音響記録は、ソナー設定ダイアログ内 でソナーログの閲覧オプションを選んで見直すことが可能です。 P.55の「*ソナーの設定」*を参照ください。

画像設定のカスタマイズ



カスタム・アイスフィッシングモードオプション

カスタムおよびアイスフィッシングモードによって、手動で ソナー調整するためのコントロールにアクセスできます。

➡注意:下記のオプションはカスタムまたはアイスフィッシングモードでのみ利用可能です。



レンジ

 Mode Custom
 Image

 Range Auto: 15m
 Image

 Frequency 200kHz
 Image

 Sensitivity Auto
 Image

 Goto cursor
 Image

 Advanced
 Restore mode

 default
 Image

 More options...
 Image

レンジの設定でスクリーン上で見える水深を決定します。

周波数

本体は複数のトランスデューサーの周波数に対応しています。 利用可能な周波数は接続しているトランスデューサーのモデル で決まります。

感度

感度を上げるとスクリーン内でより多くの詳細が示されます。 感度を下げると表示が少なくなります。詳細が多すぎると、ス クリーンにノイズが入ります。

逆に、感度を下げ過ぎると希望のエコーが表示されない可能性 があります。

⇒注意:ほとんどの場合、自動感度が適当なモードとなっています。

自動感度

自動感度では、ソナーを最適なレベルに調整します。自動 感度の機能を維持しながら、好みに合わせて(+/-) で調整 が可能です。

感度の調整

- 自動感度のメニューオプションを選んで、自動設定 をオフにします。
- 矢印キーを使用して、スクロールバーのメニューオプション をハイライトします。
- 3. メニュー/エンターキーを押して有効にします。
- 4. 矢印キーを使用して調整します。
- メニュー/エンターキーを押して設定を決定します。
- 6. イクジット(X) キーを押してメニューを閉じます。





高度なオプション

発射速度

トランスデューサーが水中に信号を送信する速度を制御します。 初期設定では、最高速度になっており、干渉を制限するために 速度の調整が必要となることがあります。

スクロールスピード

スクリーン上の画像のスクロール速度を選ぶことができます。 スクロール速度が高いと画像が早く更新され、スクロール速度 が低いと長い履歴を表わします。

→注意:状態によっては、スクロール速度を調整してより有用な画像を得ることが必要となります。たとえば、移動せずに垂直に釣りを行う際は、画像を高速に調整します。

ノイズ除去

排水ポンプ、エンジンの振動および気泡などからの干渉で画像 にノイズが乗る可能性があります。 ノイズ除去オプションは、信号の干渉にフィルターを掛け、ス

クリーン上のノイズを減らします。

水面の透明さ

波の動き、ボートの航跡および温度逆転は、水面近くでスクリ ーンのノイズの原因となり得ます。水面透明化のオプションは、 水面近くで受信機の感度を下げて水面のノイズを減らします。

カラーライン

ディスプレイの色を調整して、ユーザーがコントラストの強い ターゲットから弱いものを区別する役に立ちます。カラーライ ンを調整すると、ボトム上またはその近隣の魚や重要な物体を、 実際のボトムから区別するのに役立ちます。 上下の矢印キーを使って、スクロールバーを調整します。

初期設定モードの復元

ひとつ以上の設定をカスタマイズした場合には、このメニュー オプションが利用可能です。選択すると、すべてのカスタム化 した設定が初期設定に戻ります。

その他のオプション

19961190	
Mode Custom	Split No split
Range Auto: 15m	Amplitude scope
Frequency 200kHz	Palette
Sensitivity Auto	Fish ID Off
Advanced	Overlay DownScan
More opticns	

スクリーン分割オプション

スクリーン分割オプションは、スクリーン分割のサブメニュー 内で利用可能です。

ズーム



1. ズームの倍率

2. ズームバー

ズームモードでは、パネルの左側にサウンダー画像の拡大図を 示します。初期設定ではズームの倍率は2倍に設定されていま す。ズームキーを使用して、最大8倍までのズームが可能です。 ディスプレイ右側のレンジズームバーは、拡大された範囲を示 します。ズームの倍率を上げると、範囲が狭まります。ズーム バー間の距離が減ることで分かります。

ボトムロック

ボトムロックモードは、水底に近い目標を見る際に便利です。 このモードでは、パネルの左側にボトムが平坦である画像が 示されます。レンジ尺度が変化し、ボトム(0)から上向きに 測定します。レンジ尺度から独立して、ボトムとゼロライン が左側の画像上に常時示されます。パネル左側の画像の尺度 倍率は、ズームオプションについての記載通りに調整されま す。

フラッシャー

フラッシャーモードでは、点滅式のソナービューを左側の パネルに示し、通常のソナービューを右側のパネルに示し ます。

振幅スコープ

振幅スコープは、パネル上のエコーサウンディングディス プレイです。実際のエコーの強度は幅および色合いの濃さ で示されます。

パレット

幾つかのディスプレイパレットの中から選ぶことが可能です。

フィッシュID

スクリーン上に表わす魚群を選ぶことが可能です。フィ ッシュIDがパネル上に現われた時にビープ音で通知を受 けたい場合に選択することも可能です。



→注意:魚群記号のすべてが実際の魚群というわけではありません。

フィッシュIDビープ音

魚群が特定されるとビープ音が鳴ります。

オーバーレイダウンスキャン

ダウンスキャン対応のトランスデューサーをシステム接続した 時は、通常のソナー画像上にダウンスキャン画像を重ねること ができます。 ダウンスキャンのオーバーレイを有効にした時は、ソナーパネ ルメニューが開き、基本的なダウンスキャンのオプションが表

距離の測定

カーソルを使用して、画像上の2カ所の観測点位置の間の距離 を測定可能です。

- 距離を測定する起点となるポイント上にカーソル を置きます。
- その他オプションのメニューオプションから測定機 能を開始します。
- ⇒注意:カーソルが画像上に置かれていない限り、測定機能は利用できません。
- 3.2つ目の測定点にカーソルを置きます。
 - カーソルポイント間に線が描画され、距離がカー ソル情報ウィンドウ内に一覧表示されます。
- 必要な場合は、新しい測定ポイントを選び続けます。 測定機能が有効である限り、メニューを使って始点と終点を再 度位置決めすることが可能です。

測定終了を選ぶか、またはイクジット(X) キーを押すと測定機 能が停止します。カーソル/ウェイポイントキーを押して画像 からカーソルを消去し、画像は通常のスクロールに戻ります。

ソナーの設定



ソナーの記録

ソナーデータの記録の開始、停止のために選びます。 詳細については、P.48の「*ソナーログデータの記録開始」*を参 照ください。

ソナー記録の閲覧

ソナーの記録を閲覧するために使用します。 一時停止した画像としてログファイルが表示されます。コント ロールメニューオプションから、スクロールと表示をコントロ ールします。リプレイ画像上でカーソルを使用して、通常のソ ナー画像と同じように画像を振ることが可能です。 イクジット(X) キーを押して閲覧機能を終了します。

トランスデューサー

本体に接続しているトランスデューサーのモデルを選択し ます。選んだトランスデューサーによって利用可能なアプ リケーション (ソナー、ダウンスキャン、サイドスキャン) およびソナー操作中に選ぶことが可能な周波数が決まりま す。

水深のオフセット

すべてのトランスデューサーは、トランスデューサーから水底 までの水深を測定します。結果として、水深の読み取り値は、 トランスデューサーから水中の船の最も低い点(例、キールの 底、舵またはスケグ)までの距離、またはトランスデューサー から水面までの距離とは無関係となります。

オフセットの設定前に、トランスデューサーから水中の船の最 も低い点、またはトランスデューサーから水面までの距離を測 定します。



- A 船の最低点のオフセット:トランスデューサーから水 中の船の最も低い点までの距離を設定します。これは 負の値として設定されます。例、-0.3 m (-1 ft)
- B 水面下(喫水線)の水深オフセット:トランスデュー サーから水面までの距離を設定します。これは正の値 として設定されます。例、-+0.5 m(+1.77 ft)

トランスデューサーから下の水深は、オフセットを0に設定 します。

水温のキャリブレーション

水温の較正を使ってソナートランスデューサーから水温値を調 整します。測定した温度に対する局地的な影響を補正するため に必要となることがあります。 較正レンジ:-9.9° -+9.9°、初期設定は0°です

⇒注意:水温の較正は、トランスデューサーが温度能力がある場合のみに表示されます。

サイドスキャン



サイドスキャンは、海底からボートの側面までを精密に幅広 くカバーします。

⇒注意:サイドスキャンは、トリプルショットモデルのみ使用可能 です。

サイドスキャンの画像

サイドスキャンの画像は、左側、右側、左右両側のスキャニ ングを設定できます。



- 実速度
- 2 水深
- 3 水温
- 4 周波数
- 5 レンジ尺度

画像のズーム

画像に表示される中心の左右から外への距離を指定するには:

- ズームキーを使う。
- レンジメニュー設定を使う。

I

レンジを変更すると、画像がズームイン/アウトします。

パネル上でのカーソルの使用

初期設定では、カーソルは画像上に表示されません。画像上に カーソルを出すには、カーソル/ウェイポイントキーを押しま す。矢印キーを使用してカーソルの位置を決めします。 画像にカーソルを位置決めすると、スクリーンが一時停止し、 カーソル情報ウィンドウが有効になります。ボートからカーソ ルまでの左右の距離がカーソル位置に表示されます。 パネルからカーソルとカーソルのエレメントを消すには、カー ソル/ウェイポイントキーを押します。



履歴の閲覧

画像を上下に進めることで、履歴を閲覧することが可能です。 画像を進めるには、カーソル/ウェイポイントキーを押して 画像にカーソルの位置を決めします。この時自動スクロール は停止します。

- 下向きの矢印キーを使って、カーソルを画像の下端に移動させます。下向きの矢印キーを押し続けて、画像を下に進めると、履歴画像が見えます。
- 同じように上向きの矢印キーを使って、画像を上へ進めると、最新画像を表示します。
- 通常のスクロールに戻すには、カーソル/ウェイポイン トキーを押して画像からカーソルを消します。

サイドスキャンデータの記録

P.48の「*ソナーデータの記録開始」*で解説されている通り、サ イドスキャンを記録し、ファイルを本体内部、もしくはメモリ ーカードに保存することが可能です。

サイドスキャン画像の設定



Mode

Custom

455kHz

Contrast Auto

Advanced

Restore mode default

More options.

I

Range Auto: 30m 本体は初期設定ではオートモードに設定されており、ほとんど の設定は自動化されています。画像をカスタマイズするための カスタマイズ設定は、熟練したソナーのユーザーのみが使用す ることを推奨します。メニュー内でオートを選び、カスタムモ ードに変更して画像の設定をカスタム化します。P.60の「カス タムオプション」を参照ください。 追加のオプションは、オートおよびカスタムモードが利用可能 です。P.62の「その他のオプション」を参照ください。 カーソルが有効の時、メニューのオプションの中にはカーソル モード機能に置き換えられるものがあります。カーソル/ウェ イポイントキーを押して画像およびカーソルメニューのオプシ ョンからカーソルを消去します。

カスタムのオプション

レンジ

レンジの設定で、スクリーン上で見える水深およびサイドスキャンのレンジを決定します。

オートレンジ

レンジをオートに設定すると、システムは自動的に水深に応じてレンジを設定します。

プリセットされたレンジのレベル

いくつかの予め設定されたレンジの中から選ぶことが可能です。

周波数

2つの周波数に対応しています。ほとんどの場合は455 kHzが最 適なレンジと画質を提供しますが、水深が浅い場所では800 kHzを使用するとより詳細な画像を提供します。

コントラスト

スクリーン上の明暗範囲の輝度を決定します。

➡注意:オートコントラストの使用をお勧めします。

コントラスト設定を調整するには:

- 1. メニュー内のコントラストオプションを選ぶ。
- オートコントラストを選び、メニュー/エンターキーを 押して自動コントラストをオフにする。
- 矢印キーを使用して、調整バーをハイライトし、メニ ュー/エンターキーを押して有効にする。
- 4. 矢印キーを使用して設定を調整する。
- 5. メニュー/エンターキーを押して設定を保存する。

高度な設定

水面の透明さ

波の動き、ボートの航跡および温度逆転は、水面近くでスクリ ーンのノイズの原因となり得ます。水面透明化のオプションは、 水面近くで受信機の感度を下げて水面のノイズを減らします。

→注意:初期設定では、画像の反射と鮮明さを最適化するために、水面の鮮明さは低に設定されています。

初期設定モードの復元

ひとつ以上の設定をカスタマイズした場合には、このメニュー オプションが利用可能です。選択すると、すべてのカスタム化 した設定が初期設定に戻ります。



その他のオプション

画像の左右切替

必要な場合は、画像の左右を切り替えて、トランスデューサー の取付方向に合わせます。

レンジライン

レンジラインを追加して、距離を簡単に予測できます。

パレット

いくつかのディスプレイパレットの中から選ぶことができます。

ビュー

サイドスキャンページで画像の左側のみ、右側のみ、同時に左 右を表示する場合に指定します。

距離の測定

カーソルを使用して、画像上の2カ所の観測点間の距離を測定 できます。

- 距離を測定する起点となるポイント上にカーソル 位置を決めます。
- その他のオプションのメニューオプションから測定機能 を開始します。

➡注意: カーソルが画像上に置かれていない時は、測定機能は利用できません。

- 3. 2つ目の測定点にカーソルを置きます。
 - カーソルポイント間に線が描画され、カーソル情報 ウィンドウ内に距離が一覧表示されます。
- 4. 必要な場合は、新しい測定ポイントを選び続けます。

測定機能が有効である限り、メニューを使って始点と終点を再 度位置決めすることが可能です。 測定終了を選ぶか、またはイクジット(X)キーを押すと測定機 能が停止します。カーソル/ウェイポイントキーを押して画像 からカーソルを削除すると、画像は通常のスクロールに戻りま す、



ダウンスキャン

9

ダウンスキャンについて

ダウンスキャンは、ボートの真下の状態と魚群の画像を提 供します。ダウンスキャンパネルは、ダウンスキャン対応 のトランスデューサーが接続されている時に利用可能です。

ダウンスキャンパネル



- 実速度
- 2 水深
- 3 水温
- 4 周波数
- 5 レンジ尺度

ダウンスキャン画像のズーム

ズームキーを使って、 ダウンスキャン画像のズームが可能です。

パネル上でのカーソルの使用

初期設定では、カーソルは ダウンスキャンパネル画像上に表示 されません。画像上にカーソルを出すには、カーソル/ウェイ ポイントキーを押します。

DownScan | Hook Reveal Series Operator Manual

矢印キーを使用してカーソルの位置を決めします。ダウンスキャン画像にカーソルを置くと、スクリーンが一時停止し、カーソル情報ウィンドウが有効になります。ボートからカーソルまでの距離はカーソル情報ウィンドウの下欄に表示されます。 カーソルの水深は、カーソル位置の左に表示されます パネルからカーソルとカーソルのエレメントを消すには、カー ソル/ウェイポイントキーを押します。

Goto カーソル

カーソルをパネル上に置き、メニューのGotoカーソルオプションを使用して、画像上の選択された位置に航行することが可能です。

履歴の閲覧

画像をパニングすることで、ダウンスキャンの履歴を閲覧する ことができます。画像をパニングするには、カーソル/ウェイ ポイントキーを押して画像にカーソルを置きます。この時、自 動スクロールは停止します。

- ・ 左の矢印キーを使って、カーソルを画像の左端に移動させ ます。左の矢印キーを押し続けて、画像を左に進ませると、 履歴画像が見えます。
- 同じように右の矢印キーを使用して画像を右へ進める と、最新画像を表示します。
- ・ 通常のスクロールに戻すには、カーソル/ウェイポイン トキーを押して画像からカーソルを消します。

ダウンスキャンデータの記録

ダウンスキャンデータは、記録ダイアログから正しいファイ ルフォーマットを選ぶことで記録することができます。 P.48の「*ソナーデータ記録の開始」*を参照ください。

画像設定のカスタマイズ

本体は初期設定ではオートモードに設定されており、ほとんど の設定は自動化されています。ソナー画像をカスタマイズする ためのカスタマイズ設定は、熟練したソナーのユーザーのみが 使用することを推奨します。メニューからオートを選び、カス タムモードに変更して画像の設定をカスタム化します。 追加のオプションはオートおよびカスタムモードについて利用 可能です。

P.67の「その他のオプション」を参照ください。

カーソルが有効であると、メニュー内のいくつかのオプションはカーソルモード機能に置き換えられます。カーソル/ウェイポイントキーを押して、画像およびカーソルメニューの オプションからカーソルを消去します。

カスタムモードのオプション

カスタムモードを選ぶとメニューが開き、より多くのオプションが表示されます。これらのメニューオプションを使用して画 像をカスタマイズします。

レンジ

レンジの設定で、画像で見える水深を決定します。

オートレンジ

初期設定ではレンジはオートに設定されています。水面からボ トムまでの全レンジを自動的に表示します。

プリセットされたレンジのレベル

水深を限定しない特定の水深レンジを選択できます。

周波数

ダウンスキャンは800 kHzまたは455 kHzで使用可能です。 800kHzでは、狭いレンジで最高の解像度を提供します。 455kHzはレンジが最大になりますが、解像度が下がります。

初期設定モードの復元

ひとつ以上の設定をカスタマイズする場合に、このメニュー オプションが利用可能です。選択すると、すべてのカスタマ イズした設定が初期設定に戻ります。

コントラスト

スクリーン上の明暗範囲の輝度を決定します。

- ⇒注意:オートコントラストで使用することをお勧めします。
 - コントラスト設定を調整するには:
- 1. メニュー内のコントラストオプションを選ぶ。
- オートコントラストを選び、メニュー/エンターキーを 押して自動コントラストをオフにする。



Mode

- 矢印キーを使用して、調整バーをハイライトし、メニ ュー/エンターキーを押して有効にする。
- 4. 矢印キーを使用して設定を調整する。
- 5. メニュー/エンターキーを押して設定を保存する。

フィッシュリビール

フィッシュリビールを選んで、画像内の魚群のアーチを表示します。

フィッシュリビールを有効にすると、メニューが開き、フィッシュリビールのオプションが表示されます。

感度

フィッシュリビールデータの感度を制御します。感度を上げる とスクリーン上により多くの情報が示されます。感度を下げる と、情報は少なくなります。

情報が多すぎると、スクリーンにノイズが入ります。感度を下 げ過ぎると、小さな魚群アーチのデータは表示されないことが あります。

カラーライン

魚群アーチデータの色を調整して、他のターゲットからの区別 にします。カラーラインを調整すると、海底上またはその近隣 の魚や重要な物体を、実際のボトムから区別するのに役立ちま す。

水面の透明さ

波の動き、ボートの航跡および温度逆転は、水面近くでスク リーンのノイズの原因となり得ます。水面明確化オプション は、水面近くで受信機の感度を下げて水面のノイズを減らし ます。

パレット

様々な魚群の状態を適化した、いくつかのディスプレイパレッ トから選びます。

⇒注意:パレットの選択は多くの場合ユーザーの好みであり、 魚群の状態に応じて変化することがあります。画像詳細とフィ ッシュリビールアーチのコントラストが良くなるようにパレッ トを選ぶのが最善です。



高度なオプション

水面の透明さ

波の動き、ボートの航跡および温度逆転は、水面近くでスクリ ーンのノイズの原因となり得ます。

水面明確化のオプションは、水面近くで受信機の感度を下げて 水面のノイズを減らします。

→注意:初期設定では、画像の反射と鮮明さを最適化するために、水面の鮮明さは低に設定されています。

その他のオプション

レンジライン

レンジラインを追加して、距離を簡単に予測できます。

パレット

いくつかのディスプレイパレットの中から選ぶことができます。

距離の測定

カーソルを使用して、画像上の2カ所の観測点間の距離を測定 できます。

- 距離を測定する起点となるポイント上にカーソル を置きます。
- その他のオプションのメニューオプションから測定 機能を開始します。
- ⇒注意:画像上にカーソルが置かれていない限り、測定機能は利用できません。
- 3. 2つ目の測定点にカーソルを置きます。 -カーソルポイント間に線が描画され、カーソル情報ウィンド ウ内に距離が一覧表示されます。

4. 必要な場合は、新しい測定ポイントを選び続けます。 測定機能が有効である限り、メニューを使って始点と終 点を再度位置決めすることが可能です。

測定終了を選ぶか、またはイクジット(X) キーを押すと 測定機能が停止します。カーソル/ウェイポイントキーを 押して画像からカーソルを消去し、画像は通常のスクロ ールに戻ります。



ストラクチャーマップ

ストラクチャーマップについて

ストラクチャーマップ機能では、サイドスキャンソースからの サイドスキャン画像をマップ上に重ねます。これによりボート 周りの水中環境を簡単に可視化し、サイドスキャン画像も見や すくなります。

⇒注意:サイドスキャンはトリプルショットモデルのみ使用可能です。

ストラクチャーマップの画像

ストラクチャーマップは、お使いのチャートパネル上のオーバ ーレイとして表示することができます。 チャートパネルメニューからストラクチャーオーバーレイを選 ぶと、ストラクチャーオーバーレイのためのオプションを表示 するメニューが増えます。 下の図が、従来のサイドスキャンパネルと組み合わせた、スト ラクチャーオーバーレイ付きのチャートパネル例です。



ストラクチャーオーバーレイがある時は、通常通りにチャート パネル内を移動します。ズームキーを使って、チャートとスキ ャンした画像をズームします。

I

ストラクチャーマップのヒント

- ・ 背の高い構造物 (廃船など)の画像を得るには、その上を 通らず、ストラクチャーがボートの左か右側にくるよう に操船してください。
- エリアを横並びでスキャンをする時は、航跡履歴を重ねないでください。

ストラクチャーマップデータの記録

システムコントロールダイアログ内のログソナーオプションを 使って、サイドスキャンデータを記録し、ストラクチャーマッ プデータに変換します。

サイドスキャンパネルからダイアログが開いている、またはス トラクチャーオーバーレイ付きのチャートパネルが有効になっ ている時に、システムコントロールダイアログから記録を開始 することが可能です。

サイドスキャンデータが記録されると、赤い記号が点滅し、ス クリーン下に定期的にメッセージが表示されます。

→注意:メッセージにはファイルサイズに関する情報が含まれています。ファイルが高速で変換できるように、ログサイズは100MB以下に抑えてください。

システムコントロールダイアログ内のログ停止機能を選んで記 録を停止します。

サイドスキャンデータのストラクチャーマップフォーマットへ の変換

サイドスキャンログファイル (.sl2) は、記録ダイアログまたは ファイルのブラウザから記録した後に、ストラクチャーマップ フォーマット (.smf) に変換します。

標準もしくは高解像度ファイルを作成することができます。高 解像度の.smfファイルは、より詳細にとらえることが可能です が、標準解像度ファイルよりも大きく、変換に時間がかかりま す。

空き容量を保つには、変換後にサイドスキャン(.sl2) ファイル を削除することをお勧めします。

マッピングカードとストラクチャーマップの併用

ストラクチャーマップによって、チャートの能力をフルに維持 することが可能です。予め組み込まれた図法並びにC-MAP、 Navionics、およびシステムに対応するその他サードパーティ ーチャートカードとの併用が可能です。

マッピングカードとストラクチャーマップを併用する時は、ストラクチャーマップ(.smf)ファイルを本体内部にコピーします。

ストラクチャーマップファイルは、外部のマッピング カードにコピーしておくことをお勧めします。



ストラクチャーのオプション

ストラクチャーマップ設定は、ストラクチャーオプションのメ ニューから調整します。このメニューは、ストラクチャーオー バーレイが有効の時に利用可能です。

保存したストラクチャーマップファイルをソースとして使用している時は、すべてのオプションが使用可能であるわけではありません。利用できないオプションはグレーになっています。

透過度

ストラクチャーオーバーレイの透過度を設定します。透過度を 最低に設定すると、チャートの詳細はストラクチャーマップオ ーバーレイにほとんど隠れてしまいます。

パレット

画像のカラーパレット選択に使用します。

コントラスト

スクリーン上の明暗範囲の輝度を決定します。

ウォーターコラム

ライブモードのウォーターコラムを表示/非表示します。 オフにすると、バイトの群はサイドスキャン画像内では見えな くなることがあります。 オンにすると、マップ上のサイドスキャン画像の精度が水深に より影響を受けることがあります。

ライブ履歴の消去

既存のライブデータ履歴を消去し、最新のデータのみを表示 します。

アラーム

アラームシステム

システムは、システム実行中の危険な状況およびシステム不良 を継続的に確認します。アラームが必要な状況が発生した時は、 アラームメッセージがスクリーン上にポップアップで表示され ます。

サイレンを有効にすると、アラーム音が聞こえ、その後にアラ ームメッセージが続きます。

アラームはアラーム一覧に記録され、詳細を見て適当な是正措 置を執ることができます。

メッセージの種類

メッセージは、報告される状況がボートに及ぼす影響に応じて 分類されます。以下のカラーコードを使用します:

色	重度
赤	危機的な警告
オレンジ	重要な警告
黄	標準的な警告
青	警告
禄	軽微な警告

アラームメッセージ

アラームメッセージは、アラーム名、アラームの詳細と共に表 示されます。

メッセージの確認

メッセージ確認のアラームダイアログオプションはアラームに 応じて変わります:

閉じる/クローズ
 アラーム状態を確認済みと設定します。サイレン/ブザーが止み、アラームダイアログが消えます。
 ただし、アラームの原因が解消するまではアラームはアラーム
 一覧内に残ります。



無効

現在のアラーム設定を無効にします。アラーム設定ダイアログ 内に戻さない限り、アラームは再表示されません。

メッセージやサイレンには一時中止ありません。確認済み となるか、メッセージの原因が解消されるまでは有効のま まとなります。

アラームダイアログ

アラームダイアログからアラームサイレンを有効にします。

Settings									
٩,	System	Settings							
		Siren enabled	ON						
Πŗ	Navigation								
	Chart								
•1))	Sonar								
7	Alarms		-						

この設定オプションを選んで、アラーム設定ダイアログを開き ます。アラーム設定ダイアログ内ですべてのアラームをセット アップします。

Alarm	S							\otimes	
			Active H	listory S	ettings				
	Depth	i data missing		_	_		_		_
	Alarm	IS						()	9
			Acti	ve Histo	ory Se	ttings			
	Dept	n data missing raised						8:21 am 10/03/2014	
	Rude	Alarms							\otimes
	Wind			Active	Histor	y Se	ttings		
	Heac	No GPS fix				ON			
	No G	Shallow water				ON	6.0	(ft)	
	No G	Deep water				ON	100	.0 (ft)	
	No G	Water temp rate				ON	9 (°	°F/min)	
	Vess	Anchor				OF	F 164	(ft)	
	Vess	Low boat speed				ON	6 (n	nph)	
ソール

12

ツールパネルには、オプションにアクセスするためのアイコン と、パネルを特定しないツールが含まれています。 ツールパネルは、ホームにあります。



設定

アプリケーションとシステムの設定にアクセスできます。

システムの設定

Settings		
Curtam	Language	English (US)
System	Boat settings	
Navigation	Text size	Normal 🗸
*	Key beeps	Loud 🗸
Chart Chart	Time	
.e. Sonar	Datum	
) 551141	Coord system	Degrees/Minutes 🗸
Alarms	Magnetic variation	Auto 🗸
1	Satellites	
Units	Restore defaults	
😔 Simulator	Advanced	
	Peristration	

システムの設定で、以下のオプションにアクセスできます。

言語

パネル、メニューおよびダイアログについて、本体で使用され ている言語をコントロールします。言語を変更すると、本体は 再起動します。

ボートの設定

ボートの物理的な属性を指定します。

テキストサイズ

メニューおよびダイアログの文字サイズを設定します。 Tools | Hook Reveal Series Operator Manual

キーのビープ音

キーを押したときのビープ音の大きさを制御します。

時間

地域の時間帯の補正および日時の書式を制御します。

データム

ほとんどのペーパーチャートはWGS84フォーマットで作成されています。

お使いのペーパーチャートが異なるフォーマットの場合は、それに応じてデータムの設定を変更することが可能です。

座標系

いくつかの座標系を使用して、パネル上に表示される緯度経度 の座標のフォーマットを制御することが可能です。

磁気変位

磁気変位は、地理北極点と磁気北極点の位置の違いに起因する、 真方位と磁方位の差です。鉄鉱脈などの地域的な特異性も磁方 位に影響を及ぼします。

オートに設定すると、システムは自動的に磁方位の北を真方位 の北に変換します。自身で地域の磁気変位を入力する必要があ る場合は手動モードを選びます。

サテライト

有効な衛星の状態ページです。

初期設定の復元

元の工場設定時に復元する設定を選ぶことが可能です。



アドバンス

より詳細な設定のあるパネルを表示します。様々なユーザーインターフェース情報を表示する方法を設定します。さらに、インターフェース内にどの機能を表示するかを制御します。

登録

デバイスの登録を促します。登録は以下で可能です。

- インターネットアクセスしているスマートデバイスから
- 電話から

アバウト

本ユニットの著作権情報、ソフトウェアのバージョンおよび技 術情報を表示します。

サポートオプションはサービスのアシスタンスにアクセスしま す。詳細については、P.77の*「サービスのアシスタンス」を参* 照ください。

航法

到着範囲、XTE limit、XTE アラーム、航跡およびログタイプな ど航法についての設定を指定する場合のオプションとダイアロ グを提供します。

P.45の「ナビゲーションの設定」を参照ください。

チャート

お使いのチャートの設定を指定する場合のオプションとダイア ログを提供します。チャート設定ページで行う設定および表示 オプションは、すべてのチャートパネル内で共通です。P.33の *「チャートの設定*/を参照ください。

ソナー

お使いのソナーの設定を指定する場合のオプションとダイアロ グを提供します。P.55の「*ソナーの設定」*を参照ください。

アラーム

サイレンを有効にするオプションを提供します。項目について のアラーム音を指定するダイアログも提供し、有効なアラーム 情報およびアラーム履歴を含みます。P.72の「アラームのダイ アログ」を参照ください。

単位

様々なデータタイプで使用される測定単位を設定します。

Tools | Hook Reveal Series Operator Manual

シミュレーター

シミュレーターを手動で制御します。詳細については、P.82の 「シミュレーター」を参照ください。

ウェイポイント/ルート/航跡

ウェイポイント、ルート、航跡の、詳細を含む一覧。詳細については、P.35の「ウェイポイント、ルート、航跡」を参照ください。

インフォ

太陽/月、潮汐および航行情報にアクセスします。

太陽、月

入力したデータに基づいた位置および位置の緯度/経度につい ての日の出、日の入り、月の出および月の入りを表示します。

潮汐

ボートから最寄りの検潮所についての潮の情報を表示します。 使用可能な検潮所は検潮所フィールドから選択することが可能 です。

データを変更するには、矢印キーを使ってデータフィールドに アクセスし、メニュー/エンターキーを押して暦機能にアクセ スします。

トリップ

航行情報を提供します。航行情報をリセットします。

ストレージ

ファイル管理システムにアクセスします。本体内部のメモリー および本体に接続している保存デバイスの内容の閲覧および管 理に使用します。

保存デバイスへのファイルコピー

スクリーンショット、ログなどのユーザーデータを、本体に接続している保存デバイスにコピーすることも可能です。システム設定、ウェイポイント、ルートおよび航跡などのユーザーデータを保存デバイスにコピーすることが可能です。エクスポートするファイルは、P.77の「メンテナンス」のセクションを参照ください。

メンテナンス

予防的メンテナンス

本体には、現地で整備できるコンポーネントは一切ありません。 したがって、オペレーターが実施できるのは極めて限られた予 防的なメンテナンスのみです。

本体を使用しない時は、常に日除け用のサンカバーを取付ける ことをお勧めします。

➡注意:サンカバーは別売りです。カバーに付属の取 付ガイドを参照ください。

ディスプレイユニットのクリーニング

スクリーンのクリーニング方法:

・きめ細かい布または柔らかい綿の布を使ってスクリーンを清 掃してください。残った塩分は清水を軽く吹き付け、乾いたき め細かい布または柔らかい綿の布で、ユニットを拭きます。濡 らした布を使うと、結晶化した塩分、砂、汚れなどが保護コー ティングを傷つけることがあります。布を押し付けないでくだ さい。

ハウジングのクリーニング方法:

液体食器洗い洗剤または合成洗剤を少量混ぜた温水を使用してください。

研磨剤入り洗浄製品や溶剤入りの製品(アセトン、鉱物テレビン油など)、酸、アンモニア、アルコールなどは、ディスプレイおよびプラスチックのハウジングを傷つけるため、使用しないでください。

・噴射や高圧洗浄を行わないでください。カーウォッシュにか けないでください。

コネクターのチェック

コネクタープラグをコネクターに押し込みます。コネクタープ ラグがロックやポジションキーを備えている場合は、正しい位 置にあることを確認します。

サービスアシスタント

システムには、ソフトウェアのバージョン、シリアル番号、お よび設定ファイルからの情報を含む本体レポートを作成して技 術サポートの調査に役立つ、サービスアシスタントが組み込ま れています。

- 1. 本体に空のメモリーカードを挿入する。
- 2. システム設定ダイアログのアバウトページを開く。
- 3. サポートを選び、レポート作成を選ぶ。
- 4. 指示に従う。
- 5. メモリーカードにレポートを保存する。

スクリーンショットおよびログファイルをレポートに添付して 追加することが可能です。レポートの添付ファイルの制限は 20MBです。まず技術サポートに電話する場合は、ケース番号 を入力し、その追跡でサポートを受けることができます。 メモリーカードからレポートをメールし、インターネット接続 したスマートデバイスやPCを使ってサポートします。

ソフトウェアのアップデート

ユニットのアップデートを始める前に、必ず貴重なユーザー データをすべてバックアップしてください。P.78の「システ ムデータのバックアップ」を参照ください。

ソフトウェアのアップデート

→注意:マッピングカードにはソフトウェアのアップデート をダウンロードしないでください。ソフトウェアのアップデー ト、レポートやファイルが保存できる十分な容量のある、マッ ピングのされていないメモリーカードを使用してくだい。

➡注意:アップデートが完了するまで本体をオフにしないでください。

- www.lowrance.comから、インターネットに接続したPC やスマートデバイスに挿入したメモリーカードにソフト ウェアのアップデートをダウンロードしてください。
- 本体の電源をオフにし、その後ソフトウェアのアップデート を入れたカードを本体に挿入します。
- 本体の電源をオンにします。進捗バーが現われて、ア ップデート中のソフトウェアを表示します。アップデ ートを完了させ、本体の電源はオフにしないでください。本体が再起動済みとなるまで、カードを取外さないでください。

システムデータのバックアップ

定期バックアップの一環として、ユーザーデータおよびシステム設定のデータベースを定期的にコピーすることをお勧めします。

I

すべてのウェイポイント、ルート、航跡のエクスポート システム内のウェイポイント、ルート、航跡バックアップ には、エクスポートのオプションを使用します。



リージョンのエクスポート

リージョンのエクスポートオプションによって、データをエ クスポートするエリアを選択します。

- 1. リージョンのエクスポートを選ぶ。
- 2. 境界枠の角にカーソルを置き、メニュー/エンターキ ーを押して選択する。
- 3. 矢印キーを使って、選んだ境界枠の角を動かして枠を広 げる。
- 4. メニュー/エンターキーを押し、角に置く。
- 5. 必要に応じて、ステップ2~3を他の境界枠の角でステップ2 ~4を繰り返す。
- イクジット(X) キーを押して、エクスポートしたいリージョンが枠で覆われていることを示す。エクスポートリージョンダイアログが開く。
- 7. エクスポートオプションを選ぶ。
- 8. 適当なファイルフォーマットを選ぶ。
- エクスポートを選んで、画面指示に従ってエクス ポート先のフォルダーとファイル名を指定する。

エクスポートフォーマット

エクスポートには以下のフォーマットが使用可能です:

ユーザーファイルデータバージョン6

ウェイポイント、ルートおよび色付きの軌跡/航跡のエクスポ ートに使用します。

L

・ユーザーファイルデータバージョン5

標準化された汎用固有識別子 (UUID) 付きのウェイポイ ントおよびルートのエクスポートに使用します。極めて 信頼性が高く使いやすいものです。データにはルートが 作成された日時などの情報を含んでいます。

- ユーザーファイルデータバージョン4
 項目についてシステムが保存しているすべての余分な
 情報も含んでいるため、システム間のデータの転送に
 最適です。
- ユーザーファイルデータバージョン3(水深あり)
 システムから旧製品にユーザーデータを転送する際に使用してください。
- ユーザーファイルデータバージョン2(水深なし)
 システムから旧製品にユーザーデータを転送する際に
 使用可能です。
- GPX (GPS Exchange, 水深なし) ほとんどのGPSシステムを共有している、ウェブ上で使われ ているフォーマットです。他社のユニットにデータを取る場 合にこのフォーマットを使用してください。

ユーザーデータの完全消去

データを完全消去するまでは、消去したユーザーデータは本体のメモリー内に保存されています。未完全消去データが大量にあり、それを完全消去することでシステムの性能が向上することがあります。

⇒注意:ユーザーデータは削除され、メモリーから完全削除 されると、回復は不可能です。

設定データベースのエクスポート

保存ダイアログ内のデータベースオプションの設定を使用して、ユーザー設定をエクスポートします。

Storage			
		â 🚊 🕄	
	Export Settings		
N	Select destination folder		
🖻 🗢 My files	🔹 🗢 My files		
Settings database			

I

バックアップファイルのインポート

- バックアップファイルを含んだメモリーカードを本体 のカードリーダーに挿入する。
- ツールパネルからストレージダイアログを開いてメ モリーカードを選ぶ。
- 3. インポートしたいファイルを探して選ぶ。詳細なダイ アログが開く。
- 4. インポートのオプションを選んで、画面指示に従う。
- インポートが完了するとメッセージが出ます。

シミュレーター

1 🛛

シミュレーター機能によって、他のデバイスに接続せずに、静 止位置でユニットの作動を見ることができます。 設定ツールからシミュレーターにアクセスします。

Settin	igs		
*	System	Turn on retail mode	
-	System	Simulate	OFF
D A	Navigation	Files	
(Chart	Advanced	
• • • • •	Sonar		
۵,	Alarms		
·1-	Units		
\$	Simulator		

リテールモード

このモードでは、選択したリージョンについてのリテールのデ モが表示されます。 リテールモード時に本体を操作するとデモは中断します。 タイムアウトが過ぎると、リテールモードが再開します。 ➡注意:リテールモードは、小売店/ショールームのデモ用に 作成されています。

シミュレーターソースファイル

シミュレーターに使用するソナーデータファイルを選ぶこ とが可能です。システム内にソースファイルが1セットお り、カードリーダーに挿入したカードを使ってファイルを インポートすることが可能です。自身で記録したソナーロ グデータファイルをシミュレーターで使うこともできます。

Source Files			
S	onar Cougar Island.sl2		
Restore default files			
Save	Cancel		

I

高度なシミュレーターの設定

高度なシミュレーターの設定によって、手動でシミュレータ ーを制御することが可能です。

Advanced Simulator Settings	\bigotimes	
GPS source Simulated course		
Speed (mph) 23		
Course (°M) ³⁵⁷		
Set start position		
Save	Cancel	

GPSソース

シミュレーションされたGPSデータ用にファイルを選択します。

スピードとコース

GPSソースをシミュレーションされたコースに設定する時に、 手動で値を入力するために使用します。それ以外に、スピード およびコースを含むGPSデータは、選択したソースファイルか ら入力します。

スタート位置の設定

自身でシミュレーションしたボート位置を現在のカーソル位置 に設定します。

⇒注意:このオプションは、GPSソースをシミュレーション されたコースに設定するときにのみ使用可能です。

L



988-12681-001